



# 前回までのフォローアップ

---

藤崎 智宏

ポリシーWG チェア

*fujisaki@nttv6.net*



# JPOPM8のプログラム

---

1. オープニング
2. 前回までのフォローアップ
  - (I) WHOISにおける情報公開の現状と今後の課題 (佐藤晋/JPNIC)
  - (I) 歴史的経緯を持つPIアドレスへの取り組み (佐藤香奈枝/JPNIC)
  - (I) PKIを用いた認証強化実験 (木村泰司/JPNIC)
3. JPNIC IPv6ポリシーレビュー
  - (I) JPNIC IPv6ポリシー紹介 (穂坂俊之/JPNIC)
  - (I) ポリシーレビュー (ポリシーWG)
4. (P) IX、クリティカルインフラへの割り当て等に関するポリシー提案
5. (I) パネル討論: 「IPv6パネル: アドレスポリシ, 標準化等のIPv6の現状と今後」
6. JPNIC 報告
  - (I) JPNIC Update (佐藤晋/JPNIC)
  - (I) lame delegationに関する調査開始のお知らせ (小山祐司/JPNIC)
  - (I) JPIRRサービスの正式化について (川端宏生/JPNIC)
  - (I) IPv4割り振りアドレスの運用調査結果 (奥谷泉/JPNIC)
7. 世界動向
  - (I) WSIS とインターネットガバナンス (前村昌紀/JPNIC)
  - (I) APNIC 19レポート (奥谷泉/JPNIC)
8. まとめ



# (P) IX、クリティカルインフラへの割り当て等に関するポリシー提案

- IPv4ポリシーに関する提案
  - IXPへの割り当てアドレスのグローバルな経路広告は、現ポリシーでは認められていないが、今後、経路広告についてはIXP事業者および加入者の裁量に委ねる、と変更する。
- IPv6ポリシーに関する提案
  - クリティカルインフラストラクチャ、IXPへの割り当て対象、割り当てサイズ等の記述を追記。既存の運用ポリシーの明文化、実質的なポリシー変更ではない。
- 結論
  - IPv4ポリシーについては、IXP事業者が経路広告の判断ができるとポリシーを変更
  - IPv6ポリシーについても、IPv4ポリシー同様、IXP事業者にグローバルな経路広告の判断を委ねる
  - IANA等、JPNICから割り当てる可能性がない組織は、クリティカルインフラストラクチャへのアドレスの対象から外してポリシーに記述

「ポリシー決定プロセス」に従い、MLでの意見募集を実施、コンセンサスに至る。  
ポリシーWGよりJPNICに実装を勧告

ドキュメント公開済(2005年11月25日) → 1ヶ月後に施行予定(2005年12月25日)

<http://www.nic.ad.jp/ja/ip/doc/publish.html>



# JPOPM8のAction Item その2

---

- 2.1 WHOISにおける情報公開の現状と今後の課題 (佐藤晋/JPNIC)
  - WHOISにおける情報公開について議論をする場を設ける。詳細はポリシーWG、もしくはJPNICがIP-USERSメーリングリストで案内する

本日、「WHOIS WGに関するご報告」にて状況報告があります。



# JPOPM8のAction Item その3

- 3. JPNIC IPv6ポリシーレビュー
  - 法的にも問題のないかたちで2次ISPが自らの再割り振り空間から割り当て情報をJPNIC WHOISに登録できる仕組みを検討する(JPNIC)
  - 本件について、幅広い意見を募る(ポリシーWG)

## JPNIC:

「IPv6登録管理業務が安定した段階であるため、現時点ではまだ着手できていないが、今後JPNICで検討を進め、随時進捗をご報告いたします」

## ポリシーWG:

「IPv6アドレスポリシーのあり方とともに、意見募集方法を検討中」